



巻頭言◆

ご挨拶

会長 小川 勝

私は昨年 4 月の定例総会において第4代会長に推挙されました。ちょうど第 6 号会報が発行された直後でしたので、1年遅れのご挨拶に成った事を先ずはお詫びします。本年度も会員の皆様の御活動のおかげで大きな成果を上げることができました。

特筆すべきは第一に、中学生による法隆寺案内学習は今年から南中学校では 3 年生全員が現地案内学習することになりましたが、日頃から様々な方面で忙しく活動されている会員の皆様から1日に 20 名もの方が英語ガイドとして参加してくれたことは画期的なことでした。

次に今年から当番表のオンライン化を始めました。iセンターとJR法隆寺駅の案内所での当番表を、インターネットを利用して会員の皆様が自宅の PC から直接入力したり閲覧したりできるようになりました。

本年3月に発生した東日本大震災では、以前ガイドをさせていただいた外国人のお客様から多くのお見舞いと励みのメールを戴きました。ありがたいことです。今、一時的に日本を訪れる外国のお客様が減少しておりますが、今後も奈良を訪れる外国のお客様が少しでも良い体験・思い出ができるよう心がけたいと思います。会員の皆さん、頑張りましょう！



会長退任ご挨拶 岡本 昇

会長をお引き受けして約 10 年、体調の悪い時期もありましたが、何とか乗り越えてこられたのは会員の皆様の温かいご支援・ご協力の賜でした。心からお礼申し上げます。小城斑鳩町長をはじめ各方面・全国の関係諸団体の大きなご指導・ご支援にも心底より感謝しています。

小生が着任した頃、諸先輩のお蔭で会は既に軌道に乗っていたところでしたが、なお活動の強化を目指して船出しました。爾来、前会長をはじめ素晴らしい仲間達のご指導・激励・多大なご尽力を得て、会員は大きく増え、活動力は飛躍的に高まりました。新旧の会員のたゆまない研鑽、実践、多方面への挑戦、とりわけ各班をはじめ、なら倶楽部等様々なグループの研鑽・行動力は目をみはるものがありました。お蔭で各メディアにも取り上げられ、活動の拡大につながりました。

思い出としては、設立十周年記念行事があります。多くの外国人からの感謝の手紙・写真も私達の大きな励みになりました。斑鳩町が全世界に知られ、法隆寺をはじめご案内できる素晴らしい文化財がこの地に多くありますことは私達の幸運そのものです。

「未来検討委員会」でも多くの案が出ましたが、斑鳩アイセス SGG は可能性無限です。更なる会の発展と皆様のご健勝をひたすら祈念しご挨拶とさせていただきます。

平成22(2010)年度の アイセスの活動

◆平成22年度 主な活動内容報告

(活動期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日)

4月4日 定例総会

東侑子さんが永年の善意通訳としての活動が評価され、日本政府観光局(JNTO)より表彰された

5月1日 歴史街道リレーウォーク完結式が平城京跡にて開催され、アイセスから11名が参加

5月23日 定例会:特別講演「若草伽藍所用軒瓦の多様性」帝塚山大学森郁夫名誉教授

6月27日 定例会:学習発表「五重塔を英語で説明する①」瀬戸川会員

7月2日 (財)貿易研修センター招聘の外国人教育者による斑鳩東小学校訪問に際し、斑鳩アイセスSGGから16名が通訳として協力参加

7月10日 帝塚山大学附属博物館見学と森郁夫先生による講義

7月13日 小川会長、斑鳩南中学で3年生を対象に法隆寺について講義

7月25日 定例会:学習発表「五重塔を英語で説明する②」瀬戸川会員

8月25日 奈良県観光ボランティア連絡協議会のガイド研修会が田原本町で開催された(小川)

9月19日 定例会:特別講演「法隆寺江戸出開帳の秘話」高田良信長老、実相院にて

10月1日 オンライン当番表開始

10月11日 第2次大阪・奈良歴史街道リレーウォークの開会式が平城遷都1300年祭会場にて開催された

10月27日 書写山圓教寺バス旅行

11月2日 斑鳩南中学校法隆寺案内事前学習

11月10日 斑鳩南中学校法隆寺案内現地学習

11月19日 斑鳩中学校法隆寺案内事前学習

11月22日 法隆寺主催の「太子道ウォーク」にアイセスから5名参加。

11月28日 定例会:特別講演「尺八の国際化」ジョシュ・スミスさん

12月3日 斑鳩中学校法隆寺案内現地学習

12月12日 クリスマス会

1月25日 定例会:学習発表「寺院建築構造の変遷とそうさせたもの」中島会員

2月27日 定例会:特別講演「斑鳩町の古墳について」斑鳩町生涯学習課学芸員・志賀崇さん

3月17日 斑鳩アイセスSGG旗を作成

3月27日 定例会:学習発表「仏像彫刻の時代的特徴とその背景」井戸会員



班別活動報告

A班 本年度A班の班活動は、メンバーの親睦を目的にハイキングをすることにしました。

6月に室生口大野駅(近鉄大阪線)から滝谷菖蒲園まで8km。10月に平城宮跡・周辺散策、11月に柳生街道を10kmと3回のハイキングを実施しました、参加者は8名、10名と6名でした。

メンバーの方達とお会いする機会は例会や本部主催の行事ですが、なかなかお会いできないことが多いので、親睦の目的はいくらか達成できたかな?とっています。

2月の例会後の班会議で、親睦以外に新人教育的なことも班活動の役割ではないか、との意見がありました。新人の方が多く参加されている昨今、班活動について検討が必要と思いました。(池田 智昭)

B班 6月12日、11名が参加して橿原考古学館を見学しました。ガイドの説明を受け、特別展「大唐皇帝陵」および常設展を見学しました。昼食後は、本薬師寺跡を訪れました。

11月30日には、8名が参加して、山の辺の道を散策しました。JR 三輪駅から天理の長岳寺までの山の辺の道を、ボランティアガイドの方に同行願い、社寺、歌碑、古墳のガイドをしていただきました。大神神社、橿原神社、井寺池周りの歌碑を見て回り、景行天皇陵、崇神天皇陵を経て長岳寺に到りました。長岳寺では公開中の「大地獄図」を拝観し、寺からの説明を受けました。境内は紅葉がまっさかりで、見事な色合いをかもしていました。(檜崎 正司)

C班 C班は、隔月毎に、勉強会を実施しました。活動日を土日に設定した事で、参加できない方もおられ、参加者は、大体5~6人でした。9月の吉野方面の小旅行は、他の班からの参加者もあり、暑かったですが、充実した一日を過ごす事ができました。

4月10日。プロトンダイニングにてランチ・奈良の八重桜鑑賞(奈良女子大)今西清兵衛商店(奈良の八重桜を使った清酒等の試飲)

7月3日 法華寺「象鼻盃」・海龍王寺

9月4日 吉野方面「蔵王堂」「吉水神社」等

11月14日 西大寺・秋篠寺

1月16日 「私の好きな寺社・仏像」(東公民館)

3月12日 伝香寺・なら奈良館

(家郷 純子)

D班 D班の班活動は、室内勉強会に比重を置きながらも、行楽シーズンには野外活動を行い、1月に新年会、3月末には班のお別れ会を行う等、結果的に、勉強会の合間に自然を楽しみ、親睦を図る行事を取り入れたものとなりました。出席率は高く、班員の7割にあたる8名は、毎回ほぼ皆勤の出席でした。実施行事は以下の通りです。

4月:奈良の寺社巡り。勉強会「献納宝物」

5月:斑鳩周辺の散策

6月:勉強会「仏とお花」

7月:勉強会「蘇我一族、その強さの秘密」

9月:金勝寺、千光寺訪問

10月:勉強会「中宮寺天寿国繡帳」

11月:勉強会「この10年間の斑鳩アイセス運営について」

1月:勉強会「私の地球一周の船旅」

2月:勉強会「百万塔について」

3月:勉強会「近江大津に都が造られた理由」

(井上 浩一郎)

E班 「平城京遷都1300年祭」の特殊性に鑑み、E班はこの年に特別開扉される奈良の名刹を訪ね歩くことを活動の中心にすると、年度初めに決めました。各月のそれぞれに世話人を決めて、全員参加の班活動を心掛けました。5月の当麻寺、6月の唐招提寺と薬師寺、7月の信貴山朝護孫子寺、9月の室生寺、10月の正暦寺、11月の岩船寺・浄瑠璃寺・円成寺、そして12月の新薬師寺・白毫寺・頭塔等。文字通り、奈良の名刹を拝観し、勉強しました。世話人の方には、その日の特記すべきことを、感想文の形で記録として残して頂きました。1月と2月の寒い月は座学形式で、1月は「海龍王寺について」、2月は「聖徳太子は何故天皇になれなかったのか?」について、世話人の講義の後、参加者で活発な意見交換を行いました。実のある班活動であったと総括できます。(高橋 信男)

ガイド実績

平成 22 年度のガイド実績は、日本人 1,026 人(前年比 116.5%)、フランス人 242 人(271.9%)、アメリカ人 139 人(65.6%)で、フランス人のガイド実績が大きく伸びたことが特徴です。予約件数は、1 年間で 74 件、1 ヶ月平均では 34.8 人となり、ホームページを見ての申し込みが多い様子が伺えます。さらに 6 月の定例会で、JR 法隆寺駅での当番を奨励したところ、当番人数が大幅に増えたことも、今年度の特徴です。当番表をオンラインで記入するように呼びかけた 9 月以降に効果が現われ、年間で 180%以上の伸びとなりました。駅でのガイド件数は、i センターでのそれには遠く及びませんが(5%未満)、カウンターでの外国人への案内が著しく増えています。(中野 英作)

過去3年の案内実績

(4月1日～翌年3月31日までの集計)

	案内件数	案内人数
2010年度	566	1,590
2009年度	569	1,863
2008年度	401	1,478

2010年度団体ガイドの一例

日時	団体名	人数	ガイド
5月3日	マンフレード様引率北海道大学留学生	11名	2名
5月14日	日本国際協力センター	13名	3名
6月25日	ユネスコ・アジア文化センター文化財保護協力事業所	16名	6名
7月2日	(財)貿易研修センター招聘の外国人教師	12名	3名
10月5日	堺市 ASEAN Student Forum	31名	6名
10月25日	長浜ユネスコ協会	49名	8名
10月30日	同志社女子大学留学生他	14名	2名
11月20日	南山大学留学生他	55名	8名
12月5日	岐阜県立森林文化アカデミーとオーストラリアの建築専攻大学生	30名	6名
3月12日	大和高田市ロータリーC 依頼 オーストラリアからの来訪者他	11名	3名

◆ 海外のお客様からのメッセージ

From Italy 2011.3.19

As everybody in the world, we hope – and are sure – that the outstanding courage and moral strength of the Japanese People will help it once more to overcome this disaster.

With all our sympathy to you, your family, relatives, friends and all the Japanese People.

From USA 2011.3.12

My husband and I are shocked to see the level of destruction that yesterdays earthquake has wrought on Japan. We hope that you and your family have been spared injury and loss in this tragic event.

We pray for your safety and for the well-being of all Japanese people.

From Hong Kong 2010.10.5

My wife and I have memory when travelling Japan about a week ago.

Sachiko has guided us the visit to Horyuji temple. We were very impressed and her hospitality was very thankful.



From Canada 2010.9.19

Thank you for taking the time to give us a guided tour of Horyuji on 2 Sep 2010. My wife and I really appreciated your insights into the origins of the temple, its history, and relevance to Buddhism in Japan.

会員のページ

(今年度の活動、思い出…)

1年間の活動、お疲れさまでした。ベテランも新米もそれぞれに一杯頑張りました。2010年度を振り返り、心に残る出会い、案内の思い出、気付いた点や反省点などを、会員の皆さんに綴っていただきました。

18年前の私に再会

この1年のガイドを思い返してこれと言って記憶に残るものがない。忘れてしまうほどの件数をした訳でもなし、少しマンネリかな。

そんな中で、中学生の実地ガイドへ去年は2校とも参加した。生徒達は憶えたテキストを外国人の前で暗唱(?)する。そのドキドキが伝わってくる。ああ、18年前アイセスでガイドを始めた時の私がいる。

法隆寺の資料をなんとか英語にして必死で覚える→お寺に行って外国人を見つけてそれを披露する→英語力のなさを実感する→気を取り直して再度テキストを作る。その繰り返しがあった。それなりのテキストがあれば誰でもガイドができる。それをガイドと言うならば。でもそんなガイドで良いのだろうか？

他の人は実際どんな風にガイドされているのだろうか？知りたい、でもアイセスにはそういう研修がない。おーい、誰か講座を立ち上げてくれませんか。逸材は一杯いる。(瀬戸川真理子)

アイセスの待機場所があれば、..



アイセスの月2回の当番はカウンターに座り案内業務をすることになっていますが、当番でない時に、アイセンターの建物の中で待機することはできないのかなと思います。カウンター内は狭いので、中に入らずに日本語ボランティアガイドの方が待機場所になっているテーブルあたりがいいな。と、私は勝手に考えています。現実には、アイセス担当のカウンターが常に当番で埋まっている訳でもないし、ましてや、海外の観光客がアイセンターにそれほどたくさん立ち寄ることもないのですが、活動の選択肢として、アイセンターの建物内にアイセスメンバーの待機場所があればなと思うことがあります。

とは言っても、自分ペースで活動を楽しんでいます。特に、中学生の法隆寺学習や(財)貿易研修センターの招きで来日した先生たちの小学校訪問などは楽しい活動の一つでした。(井戸 明美)

米国の眼科医

昨年の夏、JR法隆寺駅インフォメーションに、「湧玄堂のマスターの勧めで」と、アメリカの中年男性がやって来ました。とても写真が好きなので、法隆寺に着くと、私の案内そっちのけで、さまざまなアングルから、シャッターを切っておられました。大宝蔵殿ではおとなしく、私の案内に耳を傾けてくださいましたが、最後の五重塔の模型のところで、誰もいなかったし、ドアの外から、と言うのでOKを出したのです。フラッシュの光に、係員が飛んできました。「貴方の立場なら、止めさせるべきでしょう」。誠にその通りでした。

「奈良公園に行きたい」と言うので、とても暑い日でしたが、出かけました。ビッグランチを頂きながらお話を伺っていると、彼は眼科医で貧しい国々に出かけていって、子供達にメガネを贈っているそうです。メガネをかけた瞬間、世界がはっきり見えたときの子供達の喜びようを、目を輝かせて話してくれました。ボランティアって、喜びが報酬なのですね。私は何と多くの報酬を様々な国の人々からいただいているのでしょうか。

東大寺では半パンツ、ランニングシャツに首からタオルを掛けて無邪気にカメラに興じておられました。その姿からは想像もできない素晴らしい事をしておられるのだと、深い感銘を受けた一日でした。(服部邦子)

夢幻

鑑真和上と中宮寺の弥勒さんが話されている夢幻を見た。時は百年違う。弥勒さんが例の頬手をしながら、「そうですね」と応えた。和上は「国敗れて山河あり城春にして草木深し」と杜甫を口遊んだようだ。和上来日4年後の歌だから多分、和上は知る由もなく、まして和上と弥勒さんとは遭った筈は無かろうに。ガイドしたアリゾナの美女1人を含む「3人組」が、私からの返信に「もののあわれ」という件名でメールをくれた。バルセロナからのご夫妻はめでたく出産したが早産で…、と日本の里親からの便り。日本伝統建築技術が卒論だと言って昨5月に来たウィーンの大学生は、私を建築学に突き落として行った。こんな感じで考え、やらせて頂いたガイドだった。(中島 康孝)

地域と共に

◆ 斑鳩東小学校

7月2日、(財)貿易研修センターが招聘した海外の教育者12名が斑鳩町を訪問しました。このプログラムに対し、アイセスでは毎年、通訳ガイドとして協力しています。

午前中は3班に別れ、3名のアイセス会員が法隆寺を案内しました。その後一行は、斑鳩東小学校を訪問し、習字を体験したり、児童と一緒に給食を頂いたりした後、授業とクラブ活動を参観しました。隣の東幼稚園では、幼稚園児によるお茶の接待を受けました。最後は東小学校の先生達との意見交換会があり、海外の教師1名に対しアイセス会員が1名ずつ付き、通訳として支援をしました。この模様はNHK奈良のニュースで放送されました。

アイセスの活動は、法隆寺の案内だけではありません。地元の小学校や中学校と連携した国際交流にも一役買っています。

猛暑の中、冷房設備のない校舎を教室から教室へと転々と移動しながらの慌ただしい視察でした。海外からの先生方にとっ



てはさぞかし大変な一日だったことと思います。クラブ活動の和太鼓の練習風景や東幼稚園での可愛いお茶会では、皆さん心底楽しまれたご様子。やはりその国々の伝統文化や芸能は、言葉の壁を越えて人の心に訴えるものがあるのでしょう。

観光ガイドも意義のある仕事ですが、私にとっては、日本の子供達と海外からのお客様をつなぐこのような取り組みのお手伝いはことのほか楽しく、またやりがいがありました。またぜひお手伝いさせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。(小川 住江)

初めての参加でしたので、通訳としてどのように動いてよいのかまごつきましたが、先輩のメンバーを見て臨機応変に対応する必要性を学びました。

受け入れ側の小学校では多様なプログラムを考えていて、海外で日本人の子ども達を教えておられる先生方も楽しまれていたと思います。

ただ2、3気になったことがあります。授業参観では、参観するクラスがいくつかあり、1箇所での参観時間が少なく、何のことも分からないまま過ごされたと思います。クラブ参観では、最初に行った和太鼓クラブに人気が集中し、ほかのクラブには行けなかったため、見学に来ると待って下さっていたクラブには申し訳ありませんでした。参加型のプログラムとして、小学生とのお習字、幼稚園でのお茶会があり、それぞれ体験をされましたが、時間にゆとりがなく、小学生とのお習字を通しての交流、お茶を楽しんだ後の交流が少なかったのは残念でした。(富本 肖子)

◆ 斑鳩南中学校、斑鳩中学校

2006年に斑鳩南中学校で始まった取り組みとして、英語による法隆寺案内学習があります。3年生全員が、英語で法隆寺を説明する授業です。斑鳩アイセス SGG では、両校の教室における事前学習と、法隆寺における実地学習の両方をサポートしています。特に南中学では2010年から実地学習も全員参加となり、アイセスも一段と力が入りました。

7月13日	斑鳩南中学校 3年生全員を対象にした小川会長による講義
11月2日	斑鳩南中学校で事前学習
11月10日	斑鳩南中学校、法隆寺にて実地学習。アイセス20名、奈良教育大学留学生18名参加。
11月19日	斑鳩中学校で事前学習。
12月3日	斑鳩中学校、法隆寺にて実地学習。アイセス12名、白鷗短期大学留学生8名参加

名簿を見ると男子生徒さんばかりだったので「恥ずかしがらずに話してくれるかな」と少し心配でしたが、ガイドがスタートするとその心配は杞憂に終わりました。事前学習で勉強した法隆寺の内容を一生懸命に思い出してガイドしてくれる生徒や予定外の知識を披露してくれる生徒さんもあり、留学生の方も日本の中学生と話せるのがとても楽しいという様子で、ガイドは和やかな雰囲気が進みました。留学生という本物のお客さんがおられたので、私は仮想外国人になることなくサポート役にまわることが出来ました。生徒さんにとっては身近な世界遺産である法隆寺を外国の方に紹介するという形で、英語を使って外国の方と直にお話しできたのは得難い経験だったと思います。(片岡 雅子)



初めて斑鳩中学校の法隆寺案内学習に参加しました。生徒6名と白鳳女子短大留学生ケイゼンさんとで元気よく法隆寺アイセンターを出発しました。生憎の土砂降りで声がかき消されたりしながらも、生徒達は懸命にケイゼンさんに説明しました。しかしガイドブック無しで説明した生徒は僅かで、ガイドブックを棒読みした生徒が多かったのは少し残念でした。学校として取組み始めて数回とのことで仕方ない面もあるでしょうが、事前の勉強方法やガイド内容に改善の余地があると思います。しかし次第にケイゼンさんと打ち解け、気軽に会話ができるようになった事は生徒達にとって貴重な経験でしょう。若い生徒達のエネルギーに圧倒された一日でした。(佐藤 武)



斑鳩中と斑鳩南中の法隆寺案内学習の世話役は、今年度で2回目となります。学校側や生徒さんの取り組む姿勢が、目に見えて本格化してきました。事前学習では担当部署を決め、テストまでして暗唱することを義務づけたり、現地学習で、特に南中は希望者のみの参加から全員参加に拡大されたり。自ずと生徒さん達の真剣さも格段に増しました。これに応えるためにアイセスでは、南中の現地学習には実に18名のメンバーを動員しました。アイセスの本プログラムに対するコラボの姿勢の強化もこれで分かります。本プログラムは、中学英語教育として画期的であり、法隆寺を擁する斑鳩の学校だからできることです。この取り組みが、全国的にも認知され、実践・現地重視の生きた英語教育のモデルとして認められるものと確信します。(高橋 信男)



◆ 生徒の感想文から

★外で外国の人としゃべるので、すごく緊張しました。●こういう機会がもっともった方がいいなと思いました。▲アイセスさんから、受験勉強のやる気ももらいました。★留学生と会話してすごく楽しかった。●英語の楽しさがわかりました。▲将来アメリカなどに出て、自分の世界観を広めていきたいと思いました。★





斑鳩アイセス SGG

英語によるボランティアガイド

私たちは、国際交流及び地域社会の文化の振興を目的として、
 英語による法隆寺のガイドを行うボランティアグループです。
 英語でガイドをご希望の方、外国人と一緒に法隆寺を訪れる方、
 是非私達にお声をおかけください
 (中国語でのガイドも可能です。1週間前にご予約ください)

連絡先: 斑鳩アイセス SGG

奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺 1-8-25

斑鳩町観光協会法隆寺 i センター内

電話: 0745-74-6800 ファクシミリ: 0745-75-9090

E-mail: Ikaruga@kcn.ne.jp

<http://www4.kcn.ne.jp/~yoppe> (English), <http://www4.kcn.ne.jp/~yoppe/japanese.html> (日本語)

【平成 22 年度(2010 年度)の入会者】

富本 肖子 (Shoko Tomimoto)

今井 昭代 (Akiyo Imai)

斎籐 文夫 (Fumio Saito)



斑鳩アイセス SGG の旗ができました →

斑鳩アイセス SGG の概略

設立: 1992 年 10 月
 会長: 小川 勝
 会員数: 60 名(2011 年 3 月末現在)
 会員年齢層: 30 歳代から 80 歳代まで
 活動実績: 約 2,000 人の方々に法隆寺
 を案内(2010 年度実績)

【編集後記】

原稿をお寄せいただいた皆さん、ありがとうございました。皆さんの熱い思いはうまく伝わったでしょうか。スペースの都合で、かなりカットさせていただきました。お許しください。

(北原)

発行責任者

斑鳩アイセス SGG
 会長 小川 勝

事務局

法隆寺 i センター内
 電話: 0745-74-6800
 ファクシミリ: 0745-75-9090